様式第１号（第８条関係）

記入例

事業計画書

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請者 | 氏名又は名称 | だて青果店 |
| 代表者名 | 伊達　政宗 |
| 所在地 | 伊達市＊＊町＊＊〇‐〇 |
| 連絡先 | ０２４－＊＊＊－＊＊＊＊ |
| 業種 | 小売業 |
| 常時使用従業員数 | ３人 |
| 対象事業 | ☑店舗等の集客力を向上させるための事業 | |
| ☑店舗等の来客者の利便性を向上させるための事業 | |
| □店舗等の業務効率化を図るための事業 | |
| 事業内容 | 事業の目的 | 当店は昭和５４年創業の青果小売店である。長年、＊＊地区のお客様を中心に野菜・果物の販売を行ってきた。  当店の一番のウリは商品の鮮度であるが、品質にこだわっているため鮮度が低下した場合には早い段階で廃棄してしまっていた。そのため同業他社と比べ粗利率は決して良いとは言えず、食品ロスという観点から見ても無駄が多い経営状況であった。  そこで、鮮度が落ちる前の野菜・果物を活用し、惣菜およびスイーツを自社生産できる環境を整備する。近年、惣菜や弁当を購入し、自宅で食べるという「中食（なかしょく）」のニーズが高まっており、当店のお客様でも惣菜を買いたいとの声は強い。  この惣菜自社生産展開により、お客様に鮮度を活かした美味しい食品をお届けするとともに、同業他社との差別化を図り、顧客満足度を向上させる。また、廃棄ロス削減により利益率の改善を実現することを目的とする。 |
| 事業の内容 | １．惣菜・スイーツ生産のための厨房改装  　当店の野菜・果物は鮮度抜群であり、その品質はお客様にも大変好評である。この商品については鮮度へのこだわりから、古くなるとすぐに廃棄処分していた。  　これらの商品を無駄なくすべて活用し、さらに前述のお客様のニーズに対応するべく、自社で惣菜・スイーツを製造可能な厨房に改装工事を行う。  ２．惣菜コーナーの陳列棚導入  　惣菜の販売は新たに展開する事業であるため、既存の店舗設備には陳列すべき惣菜コーナーが無い状況である。そこで、新たに厨房付近に惣菜コーナーを設ける。そこでの魅力的な商品陳列を実現するために、お客様にとって選びやすい陳列棚を導入する。 |
| 見込まれる  事業効果 | 上記の取り組みにより、野菜・果物といった「素材の販売」だけではなく、惣菜・スイーツといった「ご飯のおかず販売」ができる店舗となることで、お客様に数多くの選択肢を示すことができる。これによって、今まで当店をご利用いただいていなかった単身世帯などのお客様の誘客実現や利便性向上が実現でき、新たなお客様の集客力アップにつなげることが出来る。  また、廃棄ロスの大幅削減も実現することができ、利益率を大きく改善することが可能である。  これらの効果により、当店の経営基盤強化を果たし、今後予定している後継者への事業承継もスムーズに行うことができると見込まれる。 |
| 今後の  事業展開 | 鮮度抜群の惣菜販売により、今まで当店のご利用が無かった「料理をしない層」に対しても、当店の鮮度抜群の野菜を召し上がって頂くことが出来る。  　この取り組みを足掛かりに、伊達市の特産品である美味しい野菜・フルーツの魅力を伝えられるお店として、地区外のお客様獲得に繋げて行きたいと考えている。  　特に近年、SNS映えなどの商品などによって、お客様主導による口コミでの情報拡散が行われているため、今回の厨房改装をきっかけに新スイーツを開発し、6次化商品として展開していくことで伊達市の地域全体への活性化に貢献していきたい。 |
| 商工会の所見 | 意見等 | 本事業所は店主の確かな目利き力によって、強い信頼を得ている青果店である。今回の取り組みによって顧客満足度向上・利益率の改善を図ることで、経営基盤強化が実現できると思われる。  　また、農業が基幹産業である伊達市にとっても野菜・フルーツを活用した6次化商品の開発によって地区外消費者の獲得につながり、地域への波及効果は大きいものと推測される。 |
| 支援計画等 | 設備導入にかかる資金繰り計画について融資斡旋などの指導を実施する。  また、今後控えている事業承継についても積極的に支援を実施し、事業所の持続的経営の実現に向けて指導を行う。 |
| 商工会担当者　氏名  確認日　　　年　　月　　日 | |